

初めての栽培を応援

園芸
入門

草花編

初めてのタネまきはヒマワリから

ヒマワリ
「ビンセント®」

作型図	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
寒地 / 寒冷地					●	●	●	●	●			
温暖地				●	●	●	●	●	●			
暖地			●	●	●	●	●	●	●			

● まきどき ● 開花期

※栽培方法・時期は目安です。適温でのタネまき、地域や条件に合わせた栽培をおすすめします。

おすすめアイテム

＼ タネ ／



ビンセント® ミックス

※タネ袋のデザインは変更することがあります。

＼ 土壌改良材 ／

バイテク
バイオエース®
(3kg)

基礎情報

分類	キク科
用途	地植え / 鉢植え
日当たり	日なた
耐暑性	強
耐寒性	弱

タネをまく前に
毎回確認! タネまき基本3チェック

☑ 気温をチェック

気温が高過ぎても低過ぎてもうまく発芽できません。天気予報などで気温を確認してからタネをまきましょう。特に春は日中暖かくても夜は冷えるので注意してください。

☑ 土の厚さをチェック

発芽するときに光を好むもの、嫌うもの、どちらでもいいものがあります。必ずチェックしてからまきましょう。

☑ 土が乾燥していないかチェック

タネまき後、発芽まではこまめに水やりしてください。発芽するまで乾燥は厳禁。ジョウロでの水やりでタネが流されそうな場合は霧吹きを使ってください。

手順 1 土づくり

有機物を多く含む肥沃な土になるようにします。根が深く伸びるので、深さ40cmくらいまで耕し、堆肥、腐葉土、元肥をすき込みます。ヒマワリは成長が早いので、肥料切れしないよう月に一度、追肥をしましょう。



手順 2 タネまき

(2021年5月24日)



「ピンセント」のタネは殺菌処理済みのため青色なのです！



20cm間隔で深さ1cm程度の穴を開けます。



1つの穴に2~3粒ずつ、タネ同士が触れないようにタネをまきます。



優しく1cm程度土をかけます。



ジョウロのハス口を上向きにして優しく水をかけます。

発芽適温は20~25°C、4~6月がまきどきです。植え替えを嫌うので、土に直接まきます。20cm間隔に2~3粒ずつ点まきし、1cm程度の土をかけます。

手順 3 発芽

(2021年5月31日)

1週間前後で発芽します。発芽したら、よく日に当てますが、水を切らさないよう注意します。



手順 4 間引き

(2021年6月3日)

本葉がしっかり広がり、隣の苗と葉が触れるようになったら、元気のよい苗1本を残すようにハサミで間引きします。



手順 5 栽培経過



写真：ピンセント(2型)ポメロ

花がやや上向きで草丈もちょうどいいので、花の正面がしっかり見えます

蕾の成長につれて倒れやすくなるので、必要に応じて支柱を立てましょう。梅雨明け後、晴天が続いて土が乾くと下葉が枯れやすくなるので、乾きがひどいときはたっぷり水をやるようにします。

※神奈川県横浜市での栽培方法です。地域や条件に合わせた栽培方法をおすすめします。

コラム COLUMN

植物は日光に敏感!



やや日陰 ← → 日なた

左側に木が植わっている花壇にヒマワリのタネをまきました。気が付くと左側のヒマワリの草丈が高くなってきれいな斜めに! おそらく木の陰になり徒長※気味になってしまったのだと思います。植物は日光にとっても敏感。元気に育てるには日光にしっかり当てるのが大切です。

※徒長とは?

窒素過多や日光不足などで、茎などが通常よりも長く伸びることをいいます。